

「新幹線車内への特大荷物置場の設置と 事前予約制の導入」について業務委員会を開催！

10月25日、地本は「新幹線車内への特大荷物置場の設置と事前予約制の導入」に関する申し入れについて関西支社と業務委員会を開催しました。参加者は、組合側は柳楽副委員長、今田組織部長、西教宣部長、笹田業務部長。会社側は、廿樂人事課課長代理、高橋運輸課課長代理、毛利車両課課長代理、岡本人事課係長でした。

「申」第9号「新幹線車内への特大荷物置場の設置と事前予約制の導入」 に関する申し入れ（9月9日付）

8月29日、マスコミ報道によると東海道・山陽・九州新幹線の車内に於いて「一定以上の大きさの荷物を持ち込む際は、今回設置する荷物置場を指定席とセットで予約したうえで乗車する事前予約制を導入する」「事前予約なく特大荷物を持ち込んだ場合は持ち込み手数料1000円が必要」とのことである。

新幹線車内業務の見直しにより現在、車掌長・列車長・専任社員への負担が増加している中、今回の会社プレス発表は現場で働く乗務員には寝耳に水であり、これ以上の車掌やJRCP社員への労働強化は、乗客と乗務員の生命を守るには、安全上重大な問題である。

今回の施策導入に関し、労働組合への事前説明もなくプレス発表することは、労働組合軽視の姿勢であり到底看過出来ない。

組合の申し入れに対する会社回答は以下の通りです。

1. 東海道・山陽・九州新幹線車内への特大荷物置場の設置と事前予約制の導入に至るまでの経緯を説明すること。

【会社回答】

近年、海外からのお客様の増加もあり、新幹線車内に大きな荷物を持ってご乗車されるお客様が増加しており、来年には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、車内に持ち込まれる大きな荷物は更に増加することが見込まれる。

これに備え、東海道・山陽・九州新幹線では、車内に一定以上の大きさの荷物を持ち込む際は、今回設置する荷物置場を指定席とセットで予約したうえでご乗車いただく事前予約制を導入する。これは、ご旅行前からお座席の近くに荷物置場を確保いただけるとともに、乗降扉付近などの荷物置場に荷物を収納することでスムーズに乗降していただくこと

が可能になり、さらに安全で安心かつ快適に新幹線をご利用いただきたいという施策意図を持って開始するものである。

2. 特大荷物置場の設置箇所と事前予約制の導入の詳細を明らかにすること。

【会社回答】

特大荷物置場は以下の2箇所に設置することを予定している。

- (1) 「荷物スペース」 ・ 客室内最後部座席後方にある既設のスペースを新たに指定
・ 2020年5月中旬ご乗車分より導入
- (2) 「荷物コーナー」 ・ 車内デッキ部にある一部の洗面所（1車両に2箇所ある洗面所のうち1箇所）などを整備して新設（一部編成を除く）
・ 盗難防止のため、二重ロック方式を採用
・ 整備が完了する2023年度より導入

特大荷物置場は、特定の指定席（以下、特大荷物置場つき座席）とセットで事前予約することでご利用いただける。

ご予約にあたり追加料金はいただかない（他の座席の指定席料金と同額）。

特大荷物を車内にお持ち込みになる際は、ネット予約サービス・券売機・きっぷ売り場にて、特大荷物置場つき座席を事前にご予約のうえご乗車いただき、車内では指定された置場に荷物を置いていただくという流れとなる。

3. 実施時期は、2020年5月中旬乗車分より導入することであるが、詳細を明らかにすること。

【会社回答】

本サービスは、2020年5月中旬ご乗車分より導入（4月中旬から予約開始）する。なお「荷物コーナー」は整備が完了する2023年度よりサービス開始する。

4. 新幹線車内の後部座席妻側スペースの取り扱いについて、現行と導入後の変更点について明らかにすること。

【会社回答】

客室内最後部座席後方にあるスペースは、現在はお客様でもご利用いただけるが、事前予約制の導入後は、特大荷物置場つき座席として座席とセットで発売した箇所は、最後部座席の5席のお客様専用スペースとして共用していただくことになる。

5. 新幹線車内の後部座席妻側スペースの取り扱いについて、指定席と自由席の違いを明らかにすること。

【会社回答】

特大荷物スペースは特大荷物置場つき座席を予約したお客様専用のスペースとなる。

自由席の妻部は従前と同じくご利用頂けるが、原則として最後部座席に着席されたお客様のスペースとしてご利用頂くよう、マナーの一貫としてご協力をお願いしていく考えで

ある。

6. 新幹線車内の後部座席妻側スペースの取り扱いについて、事前予約有り無しの違いを明らかにすること。

【会社回答】

特大荷物スペースに荷物が置かれていることを確認した場合、当該スペースに紐付く座席の事前予約がある場合は荷物確認が不用であるが、予約を確認できない場合は荷物の持ち主を確認し当該スペースに紐付く座席を確保して移動を頂く。この際、手数料1000円を収受するとともに、指定席変更料金が必要な場合は併せて収受する。

7. 施策導入後の荷物管理は、誰が対応し管理するのか明らかにすること。

【会社回答】

これまで通り、お客様ご自身に管理いただくことを原則とする。

8. 施策導入後の車椅子の取り扱いについて明らかにすること。

【会社回答】

車椅子をご利用のお客様については、一般には特大荷物のサイズに該当しないことから、特定席の取扱い等に変更はない。

9. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、車内に持ち込まれる大きな荷物は更に増加することが見込まれる。施策導入により、車内で対応できる乗務員(車掌・JRCP 社員)が不足すると考える。会社の考えを明らかにすること。

【会社回答】

サービス開始に向けてホームページ等によりお客様への周知を十分に行うとともに、新幹線各駅の主な出改札に荷物サイズを測定できる台を設置し、お客様ご自身で確認いただくことができる環境を整える。なお、具体的な取扱い等については訓練において適切に教育を実施していく考えである。

10. 現行の車掌の2名の乗組み体制での、2020年5月施策導入は乗務員(車掌・JRCP 社員)の車内業務に支障をきたし、車内秩序が乱れると考える。会社の考えを明らかにすること。

【会社回答】

本施策はセキュリティ向上にも繋がると考えており、車内秩序が乱れるとは考えていない。

11. 2020年5月施策導入は、乗客・乗務員の安全が保たれない限り延期または中止すること。

【会社回答】

そのような考えはない。

12. 今回の施策導入は、車掌長・列車長・専任社員への責任が増大すると考える。これ以上の労働強化を許すことは出来ない。車掌長・列車長・専任社員への負担を軽減すること。

【会社回答】

9項目と同じ回答

13. 後部座席妻側スペースの取り扱いについて、お客様同士のトラブルに発生することが予想される。トラブルになった場合の責任の所在を明らかにすること。

【会社回答】

収納場所がない場合、乗務員が別の場所を指定するなどの対応を行う。

14. 今回の施策導入にあたり、現場で働く乗務員からは、不平と不満の声が多数上がってきている。会社は、現場の声を聴くべき場を設定すること。

【会社回答】

すでに訓練等を通じて意見を集約してきたところである。

15. 今回の施策導入にあたり、労働組合への説明がないのは組合軽視であり言語道断である。労働組合へ説明しない理由を明らかにすること。

【会社回答】

協約に則り、適切に対応している。

16. 車掌の乗組み基準を3名にすること。

【会社回答】

そのような考えはない。

見切り発車の施策は許さない！ 苦勞するのは現場社員ばかり！

特大荷物置場対応専用の巡回などの要員を配備せよ！

(組合) 現場社員の意見を聴くべきだと言うことに対して、すでに訓練を通じて意見を集約してきたところであると回答しているが、もう意見を聴かないということか。

(会社) 想定されるパターン等ご質問を頂いているので、どう対応するのか検討している。

(組合) 現場管理者に質問しても答えてくれない、わからない。それでもう集約されたと言うことはおかしい。

(会社) 細かいところは、これから詰めて行くところである。決まったら駅係員、乗務員にしっかりと説明させて頂く。

しっかりとした接客マニュアルを示し教育訓練を行え！